

エイジング社会の教養科目群

科目コード	OG149	科目名	自由な市民のための映画学入門	科目群	第1群
担当者	中村 秀之（ナカムラ ヒデユキ）				
開講日程・時限	秋学期・水曜日・4時限	授業方式	対面	単位数	2単位
備考	履修人数制限あり				
授業の目標	映画を「作品」として深く理解し味わうための基本を習得する。 映画を娯楽として消費するだけの受け身の姿勢から脱却することをめざす。				
授業の内容	この授業では、映画をディスクやネット配信で楽しむことができるようになった現状を踏まえて、映画の「作品」としての特性と、表現の基本的な規則や技法を解説します。山中貞雄監督（1909-1938）のそれぞれタイプの異なる3本の傑作を対象として、作品の全体を観覧し、物語（構成、内容、語り口など）とスタイル（映像と音響の技法）の両面から検討を加えます。また、特に重要な場面を集中的に研究し、作品の理解を深めます。				
授業計画	第1回 9/25 イントロ。『丹下左膳餘話 百萬兩の壺』（1935年）観覧① 第2回 10/2 『百萬兩の壺』観覧②（つづき） 第3回 10/9 『百萬兩の壺』物語の検討 第4回 10/23 『百萬兩の壺』スタイルの検討 第5回 10/30 『百萬兩の壺』主要場面の研究 第6回 11/6 『河内山宗俊』（1936年）観覧 第7回 11/13 『河内山宗俊』物語の検討 第8回 11/20 『河内山宗俊』スタイルの検討 第9回 11/27 『河内山宗俊』主要場面の検討 第10回 12/4 『人情紙風船』（1937年）観覧 第11回 12/11 『人情紙風船』物語の検討 第12回 12/18 『人情紙風船』スタイルの検討 第13回 1/8 『人情紙風船』主要場面の研究 第14回 1/15 まとめ				
成績評価方法	平常点による評価				
講義中に直接使用する教科書	プリントを配布します。				
上記教科書以外の参考図書	D. ボードウェル、K. トンプソン、2007、『フィルム・アート——映画芸術入門』、（藤木秀朗監訳）、名古屋大学出版会。 その他、授業の中で紹介し、適宜、コピーを配布します。				
その他（HP等）	教材の配布や連絡等に SPIRIT Gmail、Canvas LMS、Google ドライブを利用します。				